

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2019年11月11日
【四半期会計期間】	第114期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	京福電気鉄道株式会社
【英訳名】	Keifuku Electric Railroad Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大塚 憲郎
【本店の所在の場所】	京都市中京区壬生賀陽御所町3番地の20
【電話番号】	075（841）9385
【事務連絡者氏名】	取締役 管理部長 長尾 拓昭
【最寄りの連絡場所】	京都市中京区壬生賀陽御所町3番地の20
【電話番号】	075（841）9385
【事務連絡者氏名】	取締役 管理部長 長尾 拓昭
【縦覧に供する場所】	京福電気鉄道株式会社 福井事務所 （福井県福井市日之出1丁目6番14号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次		第113期 第2四半期 連結累計期間	第114期 第2四半期 連結累計期間	第113期
会計期間		自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
営業収益	(百万円)	6,258	6,527	12,406
経常利益	(百万円)	739	903	872
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(百万円)	481	585	698
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	531	649	719
純資産額	(百万円)	7,332	8,126	7,520
総資産額	(百万円)	19,018	20,001	20,120
1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	241.95	294.45	351.46
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	35.1	36.9	34.0
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	1,065	891	2,016
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	458	412	1,599
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	742	404	620
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	1,079	1,086	1,011

回次		第113期 第2四半期 連結会計期間	第114期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	100.02	150.88

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善が続き企業収益は高い水準で底堅く推移しました。一方で、消費税率の改定を控え内需の下振れが懸念され、さらに、通商問題など国際情勢による経済リスクが高まり、景気の先行きは不透明な状況にありました。

このような状況のもと、当社グループでは、2019年6月に策定した中期経営計画をスタートさせました。各事業において、目標達成のためのロードマップを策定し、京都地区におきましては、「らんでんすもすもプロジェクト」の推進、福井地区におきましては、JR福井駅周辺の保有資産の有効活用など各事業の将来を見据えた取組みを実施しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の財政状態及び経営成績は以下のとおりとなりました。

財政状態

当第2四半期連結会計期間末の資産は、減価償却による有形固定資産の減少などにより、前連結会計年度末に比べ118百万円減少し、20,001百万円となりました。負債は、未払金の支払などにより、前連結会計年度末に比べ724百万円減少し、11,875百万円となりました。純資産は、期末配当を実施した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ605百万円増加し、8,126百万円となりました。

経営成績

当第2四半期連結累計期間の当社グループの営業収益は6,527百万円（前年同期比269百万円、4.3%増）となり、営業利益は諸経費の執行時期の変更による営業費用の減少もあり910百万円（前年同期比158百万円、21.1%増）となりました。これに営業外収益および営業外費用を加減した経常利益は903百万円（前年同期比163百万円、22.1%増）となりました。さらに、2018年の台風21号による損害保険金の受取りなどの特別利益や特別損失ならびに法人税等を加減し、親会社株主に帰属する四半期純利益は585百万円（前年同期比104百万円、21.7%増）となりました。

次に、セグメント別の経営成績をご報告いたします。

(運輸業)

鉄軌道事業におきまして、嵐山線では、インバウンド情勢において日韓関係の悪化などの影響が懸念されましたが、その他の国からのお客様のご利用により輸送人員は増加しました。人気アニメ「鬼滅の刃」とのコラボレーション企画など利用促進策の実施や、2019年春に修復落慶した、仁和寺観音堂の仏像や障壁画を車内外にデザインした嵐電「観音電車」の運行、嵐電を舞台に撮影された映画「嵐電」の公開による情報発信量の増加などもご利用人員の増加に寄与しました。なお、2019年4月より、電車内でも全国相互利用ICカードにチャージができるよう設備を改良し、お客さまの利便性向上を図りました。鋼索線（叡山ケーブル・ロープウェイ）は、2018年の叡山電鉄「ひえい」デビューによる比叡山方面への波及効果が減少し減収となりましたが、秋季観光シーズンの利用促進につなげるべく、瑠璃光院夜間拝観と叡山ケーブル、叡山電鉄をセットにした商品造成などの準備を進めました。

バス運送事業におきまして、京都バス(株)では、岩倉北部・市原地域への均一運賃区間拡大、トラフィカ京カードへの参画、および北大路バスターミナルへの乗り入れ開始等、京都市交通局とのシームレス化推進に継続して取り組みました。京福バス(株)では、2018年開催された「福井しあわせ元気国体・元気大会」の反動減はあるものの、2018年の路線バスのダイヤ改正に引き続き、2019年4月に路線の整理による効率化を図るとともに、高齢のお客さまを対象にした「いきいき定期」の適用範囲を拡大するなど、利用促進策を実施しました。高速バスでは、2019年6月に名古屋線・東京線の運賃改定を実施する一方で、全車両にWi-Fi設備を完備しサービス向上に努めました。また、福井地区のグループ内でのバスとタクシーの連携を強化し、乗換え時間の短縮などお客様の利便性の向上を図ってまいります。

以上の結果、運輸業の営業収益は3,960百万円（前年同期比73百万円、1.9%増）となり、営業利益は361百万円（前年同期比73百万円、25.7%増）となりました。

(鉄軌道事業の運輸成績)

種別	単位	当第2四半期 連結累計期間 (2019.4.1~2019.9.30)		
			対前年同四半期増減率(%)	
営業日数	日	183	0.0	
営業キロ程	キロ	12.8	0.0	
車両走行キロ	千キロ	541	2.3	
輸送人員	定期	千人	1,491	6.9
	定期外	"	3,039	4.9
	計	"	4,531	5.6
旅客運輸収入	定期	百万円	140	5.8
	定期外	"	607	4.6
	計	"	747	4.8
運輸雑収	"	45	2.6	
運輸収入合計	"	793	4.7	
乗車効率	%	34.6	3.8	

(業種別営業成績)

種別	当第2四半期連結累計期間 (2019.4.1~2019.9.30)	
	営業収益	対前年同四半期増減率
	百万円	%
鉄軌道事業	793	4.7
バス運送事業	2,775	2.3
タクシー事業	443	7.5
消 去	51	-
計	3,960	1.9

(不動産業)

不動産販売事業および不動産賃貸事業におきましては、沿線の定住人口の増加を目指した「らんでんすもすもプロジェクト」では、新たに新築戸建分譲用素地の仕入れに着手したほか、2018年に取得した2棟の賃貸物件は、入居者が決まりました。また、不動産賃貸事業では、各賃貸施設において積極的な営業活動により入居率の向上を図りました。「BOAT RACE(ボートレース)三国」では、プレミアムG レース「ヤングダービー」が9月18日から6日間開催されたほか、「モーニングレース」も前年に引き続き開催されました。さらに、他場レースの舟券の購入機会を増やすとともに、スマートフォン等への情報発信やキャンペーンなど、積極的な販売活動を行い、賃貸収入の増収に努めました。

以上の結果、不動産業の営業収益は1,739百万円(前年同期比169百万円、10.8%増)となり、営業利益は412百万円(前年同期比46百万円、12.8%増)となりました。

(業種別営業成績)

種別	当第2四半期連結累計期間 (2019.4.1~2019.9.30)	
	営業収益	対前年同四半期増減率
	百万円	%
不動産賃貸事業	2,047	17.1
不動産販売事業	14	77.7
消 去	322	-
計	1,739	10.8

(レジャー・サービス業)

飲食、物販業におきまして、「嵐山駅はんなり・ほっこりスクエア」では、夏季恒例の「RANDEN EKI-BEER 2019」で「地産地消」をテーマに嵐電沿線の食材や調味料を使用したメニューを提供し好評を博しました。また、直営店舗「らんでんや」では、アニメ「鬼滅の刃」とのコラボレーションメニューやグッズの販売により増収となりました。

三国観光ホテルやホテル京福では、インターネット販売の強化や、需要予測による価格設定で収益の最大化を図る販売方法により、稼働率や売り上げの向上に努めました。越前松島水族館では、夏場の天候にも恵まれ、開館60周年を迎え新設した、越前ガニやウナギなどの海の幸に触れられる「海の幸タッチコーナー」に人気が集まり、磯の生物観察や地引網体験など、多くの家族連れのお客さまにお楽しみいただきました。

以上の結果、レジャー・サービス業の営業収益は1,049百万円(前年同期比4百万円、0.4%増)となり、営業利益は133百万円(前年同期比36百万円、38.0%増)となりました。

(業種別営業成績)

種別	当第2四半期連結累計期間 (2019.4.1~2019.9.30)	
	営業収益	対前年同四半期増減率
	百万円	%
ホテル業・水族館業	698	4.3
飲 食 業	-	100.0
物 販 業	225	7.6
広 告 代 理 店 業	52	1.7
そ の 他	91	14.5
消 去	18	-
計	1,049	0.4

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは未払金の支払による支出などがありましたが、税金等調整前四半期純利益や減価償却による資金留保などにより891百万円の収入（前年同四半期に比べ173百万円の収入減）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の取得による支出などにより412百万円の支出（前年同四半期に比べ45百万円の支出減）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは長期借入金の返済による支出などにより404百万円の支出（前年同四半期に比べ338百万円の支出減）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は1,086百万円（前連結会計年度末に比べ74百万円増加）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,000,000	2,000,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	2,000,000	2,000,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額(百万円)	資本準備金残 高(百万円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日		2,000,000		1,000		270

(5)【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
京阪ホールディングス株式会社	大阪市中央区大手前1丁目7番31号	857	43.15
日本駐車場開発株式会社	大阪市北区小松原町2番4号	111	5.62
日本生命保険相互会社 (常任代理人 日本マスタートラ スト信託銀行株式会社)	東京都千代田区丸の内1丁目6番6号 (東京都港区浜松町2丁目11番3号)	93	4.70
株式会社京三製作所	横浜市鶴見区平安町2丁目29-1	33	1.66
三井住友信託銀行株式会社 (常任代理人 日本トラスティ・ サービス信託銀行株式会社)	東京都千代田区丸の内1丁目4-1 (東京都中央区晴海1丁目8-11)	20	1.01
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目2-1	17	0.88
京都中央信用金庫	京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町91	15	0.75
日本トラスティ・サービス信託銀 行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	14	0.73
株式会社福井銀行 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行株式会社)	福井県福井市順化1丁目1-1 (東京都中央区晴海1丁目8-12晴海アイ ランドトリトンスクエアオフィスタワーZ 棟)	10	0.50
株式会社京都銀行 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行株式会社)	京都市下京区烏丸通松原上る薬師前町700 (東京都中央区晴海1丁目8-12晴海アイ ランドトリトンスクエアオフィスタワーZ 棟)	9	0.48
計	-	1,182	59.49

(注) 上記のほか、自己株式が11千株あります。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 11,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,973,000	19,730	-
単元未満株式	普通株式 15,100	-	-
発行済株式総数	2,000,000	-	-
総株主の議決権	-	19,730	-

(注) 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己株式が26株含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
京福電気鉄道株式会社	京都市中京区壬生賀陽御所町3番地の20	11,900	-	11,900	0.60
計		11,900	-	11,900	0.60

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,028	1,108
受取手形及び売掛金	1,236	1,152
販売土地及び建物	77	88
商品及び製品	26	24
仕掛品	0	73
原材料及び貯蔵品	42	44
前払費用	37	43
その他	549	484
貸倒引当金	3	8
流動資産合計	2,995	3,011
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,693	9,560
機械装置及び運搬具(純額)	1,463	1,304
土地	3,886	3,906
リース資産(純額)	840	946
建設仮勘定	21	124
その他(純額)	349	328
有形固定資産合計	16,254	16,172
無形固定資産	183	174
投資その他の資産		
投資有価証券	247	245
繰延税金資産	170	136
その他	277	263
貸倒引当金	10	3
投資その他の資産合計	685	642
固定資産合計	17,124	16,989
繰延資産		
社債発行費	1	0
繰延資産合計	1	0
資産合計	20,120	20,001

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51	63
短期借入金	3,509	3,380
1年内償還予定の社債	45	42
リース債務	155	166
未払金	1,110	526
未払法人税等	274	340
未払消費税等	78	152
賞与引当金	216	237
その他	511	457
流動負債合計	5,953	5,367
固定負債		
社債	19	-
長期借入金	4,310	4,204
リース債務	735	825
長期未払金	345	304
繰延税金負債	622	571
役員退職慰労引当金	53	48
退職給付に係る負債	237	230
その他	322	323
固定負債合計	6,646	6,507
負債合計	12,599	11,875
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	291	292
利益剰余金	5,511	6,056
自己株式	19	19
株主資本合計	6,783	7,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53	51
その他の包括利益累計額合計	53	51
非支配株主持分	683	745
純資産合計	7,520	8,126
負債純資産合計	20,120	20,001

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(単位 : 百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 9 月30日)
営業収益	6,258	6,527
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	2,547	2,567
販売費及び一般管理費	1,249	1,249
営業費合計	5,506	5,617
営業利益	751	910
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5	5
助成金収入	6	-
雑収入	13	18
営業外収益合計	26	24
営業外費用		
支払利息	25	25
社債発行費償却	0	0
貸倒引当金繰入額	10	0
雑支出	1	4
営業外費用合計	37	31
経常利益	739	903
特別利益		
受取保険金	29	35
補助金収入	-	30
固定資産売却益	89	6
特別利益合計	118	72
特別損失		
固定資産除却損	25	4
災害による損失	38	-
特別損失合計	63	4
税金等調整前四半期純利益	794	971
法人税、住民税及び事業税	310	335
法人税等調整額	46	16
法人税等合計	263	319
四半期純利益	530	651
非支配株主に帰属する四半期純利益	49	66
親会社株主に帰属する四半期純利益	481	585

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	530	651
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	2
その他の包括利益合計	0	2
四半期包括利益	531	649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	481	583
非支配株主に係る四半期包括利益	50	66

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	794	971
減価償却費	617	632
賞与引当金の増減額(は減少)	12	21
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	6	4
貸倒引当金の増減額(は減少)	0	1
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	1	7
受取利息及び受取配当金	5	6
支払利息	25	25
固定資産売却損益(は益)	89	6
固定資産除却損	25	4
固定資産のための補助金	-	30
売上債権の増減額(は増加)	56	83
たな卸資産の増減額(は増加)	10	68
前払費用の増減額(は増加)	5	5
仕入債務の増減額(は減少)	7	12
未払金の増減額(は減少)	284	409
未払費用の増減額(は減少)	15	44
未払消費税等の増減額(は減少)	47	73
その他	4	55
小計	1,186	1,183
利息及び配当金の受取額	5	6
利息の支払額	25	26
法人税等の支払額	101	272
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,065	891
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	7	7
定期預金の払戻による収入	4	3
投資有価証券の取得による支出	0	0
短期貸付金の純増減額(は増加)	122	141
有形固定資産の取得による支出	506	529
有形固定資産の売却による収入	27	6
無形固定資産の取得による支出	31	18
固定資産のための補助金収入	188	278
その他	10	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	458	412

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	180	135
長期借入れによる収入	453	710
長期借入金の返済による支出	819	810
社債の償還による支出	22	22
ファイナンス・リース債務の返済による支出	83	81
自己株式の取得による支出	0	0
配当金の支払額	39	39
非支配株主への配当金の支払額	4	4
その他	45	20
財務活動によるキャッシュ・フロー	742	404
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	135	74
現金及び現金同等物の期首残高	1,214	1,011
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,1079	1,1086

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 「販売費及び一般管理費」は、不動産販売事業及び物販業に係るものであり、その主な内訳は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
人件費	35百万円	35百万円

2 営業費のうち引当金繰入額

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
賞与引当金繰入額	236百万円	237百万円
退職給付費用	53	54
役員退職慰労引当金繰入額	0	0

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金勘定	1,103百万円	1,108百万円
預入期間が3ヵ月を超える定期預金	24	22
現金及び現金同等物	1,079	1,086

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月20日 定時株主総会	普通株式	39百万円	20.00円	2018年3月31日	2018年6月21日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月20日 定時株主総会	普通株式	39百万円	20.00円	2019年3月31日	2019年6月21日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	運輸業	不動産業	レジャー・ サービス業	計		
営業収益						
(1) 外部顧客への営業収益	3,876	1,475	906	6,258	-	6,258
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	10	94	138	243	243	-
計	3,887	1,569	1,044	6,502	243	6,258
セグメント利益	287	365	96	750	0	751

(注)1 セグメント利益の調整額0百万円はセグメント間取引消去額です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	運輸業	不動産業	レジャー・ サービス業	計		
営業収益						
(1) 外部顧客への営業収益	3,950	1,653	924	6,527	-	6,527
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	10	86	125	222	222	-
計	3,960	1,739	1,049	6,749	222	6,527
セグメント利益	361	412	133	908	1	910

(注)1 セグメント利益の調整額1百万円はセグメント間取引消去額です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(デリバティブ取引関係)

当社グループのデリバティブ取引は、全てヘッジ会計が適用されているため、記載しておりません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額(円)	241.95	294.45
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	481	585
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	481	585
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,988	1,988

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月11日

京福電気鉄道株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 守谷 義広 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 高田 康弘 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている京福電気鉄道株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、京福電気鉄道株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。